



Vol.72

# 森づくりサポートニュース

令和2年（2020年）3月30日号

びわこ地球市民の森（森づくりセンター）

〒524-0102 守山市水保町2727 TEL 077-585-6333 FAX 077-585-6312  
メールアドレス biwako@morigidukuri.info URL http://www.morigidukuri.info

## 新しい時代に期待される森のあるべき姿 (シリーズ4)

「期待される森のあるべき姿」の最終回です。要は四季を通じて森を歩きながら観たときに、どのような魅力を感じるかということではないかと思います。これまでに春から冬、5月～1月までを載せました。今回は冬～春、2月～4月のこの森の魅力を紹介しようと思います。

今年は暖冬で、守山では雪が1、2回、田んぼや屋根に薄く積もった程度でした。冬季来園者の案内や講座の受講生と歩いた観察会では、春を待つ木々や野草たちの息吹を観て回りました。出会いのゾーンでは、例年より早くソシンロウバイや紅白のウメが満開です。

一方、この森には桜が4種類植えられています。一番多いのは、ヤマザクラ（全園）です。後は、多い順にウワミズザクラ（全園）、エドヒガン（出会い、里の森ゾーン）、そしてシキザクラ（里の森ゾーン）です。若干咲く時期を前後しながら公園全体に白または淡紅色の花を咲かせます。

春咲く花の色は、白と黄色系が目立ちますが、園内一円にはコブシやエゴノキの白い花が咲きます。特にモリモリ山のエドヒガンの近くにある白いコブシの花は、エドヒガンと相乗して印象的です。さらに園路沿いには、アセビ、ガマズミ、ウツギ、ユキヤナギなどの白い花、レンギョウ、ヤマブキなどの黄色い花が咲き誇ります。

寒々として透け透けだった森、幹と枝ばかりだったニレ科のエノキやムクノキ達、そして同じように裸だったり、枯葉をそのまま装ってきたブナ科で落葉樹のクヌギ、コナラ、カシワ達は、いよいよ萌黄色の若葉を出してきます。落葉樹林や混交林では、森全体が日一日と萌黄色に息づき始め、やがて森全体が淡い緑の装いに包れます。県道の高いところから眼下に見えるふれあいゾーンでは、風で森の木々がそよぐ姿が、淡い緑の大きな波のようです。またこの時期、子育てをしながら森の上を空高く飛び<sup>さえず</sup>バリや水際のオオヨシキリなど、鳥達の騒りで賑わいます。センターの皆様も、森の中を青葉若葉の香しい匂いをかぎながら、歩いていただきたいと思います。



ハツ橋とウメ



膨らんだコブシの花芽



落葉樹の森



県道からふれあいゾーンを望む



森の中からセンターが見える

第6回

## 「森づくり活動団体」 情報交換会を開催!

令和2年1月30日に、森づくりセンターとして登録し、定期的に活動している団体（ふくの会・さんまる会・森樂・みいの会フォレスト・32期園芸・レイカ33会・みろく会・レイカ36会・みなの会・レイカ37会・はやの森探検隊・花の38会・ENG39A・LBK39）の代表者など30名が集まり、今年度で6回目となる情報交換会が行われました。

まず、それぞれの団体からは、「楽しく活動が続けられている」「参加して多くのつながりができた」「次の世代を森に引きつけ、森づくりを引き継いでいきたい」「体力が衰え、作業の負担が増えてきた」「軽作業を望む」「人と自然とのふれあいを大切にしている」「どんな森になるか楽しみだ」などなど、紹介や近況報告を伺いました。

続いて、「森の利・活用」について話し合いました。

今井センター代表から、「最初の植樹から20年を迎える、目的を考え、それに合わせた森づくりをしていきたい。」江見所長から、「皆さんには、担当地の特色（樹齢・樹種とその特徴等）を知ってほしい。子ども達を森の中へ誘うために小径をつくってほしい。」と提案されました。

出席者から、「BBCなどに、森の四季や取り組みなどを紹介して広報してはどうか。」「外向け看板の整備」「改めて森を歩き、子どもが喜びそうなもの、良い景色を探す。巨木や季節ごとの見どころをうまく組み合わせる。」「森づくりの後継者づくり（学生など）、やまとこ、森の学校、森のようちえんなどの開催」「いかにして森に来てもらうか、キャンプ、「おうみんち」や「びわー（いち）」などと組み合わせて、公園全体に来てもらうことを考えるべき」「学校行事と結びつけ、自然と親しむために森を生かそう」「外来生物（ヌートリア・ミシシッピアカミミガメ・セアカゴケグモ・オオバナミズキンバイなど）の駆除を」などの意見がありました。

### 子どもキャンプのサポート



子ども達と間伐・道づくり



竹でそーめん流しのレンズづくり



子ども達と餅つき



竹林 園路沿いの見通しを確保



竹でそーめん流しのレンズづくり



オオバナミズキンバイ除去活動

### 森のめぐみ

緑・空気・水・命・土・燃料  
・食料・道具・遊び・冒険・  
知識・知恵・絆・伝統・文化  
etc.

森は包容力のある多目的空間。来るもの拒まず!!

# 森の中で 自然体験型キャンプ開催!

びわこ地球市民の森では、子ども達を対象にクラフト教室や環境学習など様々なイベントを行っていますが、令和元年度より、新たに豊かな自然を生かした自然体験型キャンプなどの取り組みを始めました。

7月はカブトムシやホタルなどを探す「夜の生き物観察会」、8月は小学生を対象とした宿泊型「サマー キャンプ」、11月は間伐材を使った工作や蔓を利用したクリスマスリースづくりなど「森のクラフト教室」、12月は未就学児を対象とした「森のようちえん」などを実施してきました。

そして、冬のキャンプでは、12月に「クリスマスキャンプ」、1月に「お正月キャンプ」を開催し、2つのキャンプを合わせると定員を超える80名もの多くの小学生が参加しました。「クリスマスキャンプ」では、ケーキのデコレーションやリースづくり、「お正月キャンプ」では、凧作りやお正月遊び、餅つきなど楽しい体験をしたあと、メインは冬の森で遊ぶことでした。



クリスマスケーキづくり、  
おいしくできたかな？



自然を生かした  
クリスマスリースづくり



はやのの森探検隊の皆さん  
指導による餅つき体験

「森の宝探し」では子ども達に大きさや形の違うドングリなどの木の実、いろいろな模様をした葉っぱ、面白い形の石、枝、きのこ、幼虫、大きな亀など様々な宝物（自然物）を集めました。何もないように見える冬の森も、関心を持った子ども達の目線ではたくさんの面白い自然物が発見できました。



森の中で宝探し



この枯れ葉、何の木だろう？

子ども達の指導者にはアウトドアリーダーとして大学生のお兄さん、お姉さんがあたり、寝食を共にすることで、健康面の配慮や心身の安全対策なども学びました。

また、夏のキャンプでは竹を使った流しそーめん、冬のキャンプでは餅つき体験などで森づくりサポーターの皆さんにも指導をしていただき、子ども達にとっては森の良さや大切さを知る絶好の機会にもなりました。

令和2年度も、子ども達が自然を楽しみ、自然を学び、自然を生かし、自然の大切さを知る様々なイベントを計画しますので多くの皆さんの参加をお待ちしています。



## 出会いのゾーンの園路が、 一部 輔装されました。

令和元年度の公園整備工事で、出会いのゾーンの管理道路や散策道がアスファルトで舗装されました。ベビーカーなどを押しての散策や車いすの方などは、通りやすくなりました。

今は、できたて真っ黒！ですが、徐々に白っぽくなり景色に馴染んでくると思います。

以前、公園利用者から、「土の道も歩きたい」という話がありました。別のルートや他のエリアには土の道や草の道もあります。落ち葉を踏みながら歩いてください。また、森の小径や木立の中へも、切り株などに気をつけて、どんどん入ってみてください。



土の道



草の道



森の小径

明るい落葉樹の森 足下は花盛り



## お知らせ



### びわこ地球市民の森のつどい 2020 について

令和2年度のつどいは、「育もう みどりの未来 つないでいこう みどりのバトン」をテーマに5月24日（日）に開催されます。

緑あふれる森のつどいに、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

### 令和2年度森づくりサポーター活動の計画

令和2年 5月 24日（日） びわこ地球市民の森のつどい2020

令和2年 7月 25日（土） 植栽地の育樹活動と自然学習など

令和2年 10月 10日（土） 植栽地の育樹活動と自然学習など

令和3年 3月 6日（土） 植栽地の育樹活動と自然学習など



### 編集後記

今年度のサポーター活動は、2度の台風と新型コロナウィルスの影響で、野外での森づくり活動が全て中止となりました。

活動を楽しみにされていたサポーターの皆さんには本当に残念だったと思います。

一方、去る1月30日に開催した「森づくり活動団体情報交換会」では、様々な意見や提案をいただきました。

これらをもとに、令和2年度も、より一層充実した森づくり活動を進めていきますので、引き続きよろしくお願いします。

### 森のデータ

森の面積	42.5ha
森の延長	3.2km
森の幅	100～200m
植樹面積	80,808 m <sup>2</sup>
植樹期間	H13～H25
植樹活動参加者数	44,994 人
植樹本数	160,967 本
森への利用者数 (H30)	186,720 人
森づくり活動参加者数 (H30)	7,445 人
うちサポーター活動参加者数 (H30)	2,646 人